

「ペタッと SDGs 新聞学習ふせん」を使ったオンライン出前授業@兵庫・県立兵庫高等学校



(写真提供：岩見理華教諭)

「ペタッと SDGs 新聞学習ふせん」を使ったワークショップの面白さの 1 つに情報の共有、つまり「対話」（ダイアログ）があります（「折々のことば」ご参照）。正解のない問いに様々な立場を想像しながら、課題を深く掘りさげ考えの違いを理解しようとする対話は、生徒に少なからず刺激を与えるようです。

5 月 17 日、兵庫県立兵庫高等学校でオンライン出前授業（2 年 7 クラス、50 分）を実施しました。グループに分かれた「情報の共有」では「ヘー」「なるほど」と思ふような意見交換が行われたのだと想像させる感想が多数寄せられました。同月 31 日には、引き続きクラス内での共有、各自興味をもった新聞記事を使ったワークショップなどの振り返り。6 月の神戸市企画調整局政策調査課職員による「市の課題と施策」についての講演、と続きます。

- ① SDGs を学び
- ② SDGs を使って社会課題を学び
- ③ 社会課題と向き合っているプレーヤーの話を聞く

これらの学びからプロジェクトが生まれ、アクションへと発展していく、そんなプロセスを感じます。

<寄せられた感想から>

- ・ワークショップをすることにより自分だけでは考えることができなかった意見を取り入れることができ、新しい捉え方を学ぶことができたので良かったです。
- ・SDGs のように世界規模での問題についてはよく学んでいたけれど、今回のお話を通じて、関連する問題というのはいくらでも身近にあるものなのだと感じることを感じた
- ・一つの問題に対していろんなターゲットが当てはまっていたので興味深かったです。一つの出来事からいろいろなことに目を向けることができるんだと気づきました。クラスのなかでもそれぞれ考えが違ったのでグループで話し合うのが楽しかったです。

(遊佐美恵子)

